学年	2	教科	理	科目	生物	単位 （週時数）	4

【年間の目標】
①自然環境や生物に関連する基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
②観察、実験などを行い、結果を比較・考察し科学的に探究する力を養う。
③生物や生物による現象などに主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【使用教材】　教科書：高等学校生物、高等学校生物基礎（第一学習社）資料集：スクエア最新図説生物（第一学習社）
問題集：セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）

1学期中間考査まで

【単元】第7章　遺伝子を扱う技術とその応用：第2節　遺伝子を扱う技術の応用
第８章　動物の反応と行動：第1節　刺激の受容と反応、第2節　動物の行動
第9章　植物の成長と環境応答：第1節　植物と環境

【目標】私たちの生活とバイオテクノロジーの接点や恩恵を知る。
わたしたちヒトをはじめとした動物の刺激受容から反応、さらにその複合である行動までのプロセスについて知識を習得し、我々の行動理解へつなげる。医療行為がどのように成り立っているかの理解へもつなげる。植物にも動物とは異なる環境への応答プロセスがあることの理解を深める。

【実験・実習】・多摩動物公園で動物行動観察実習を行い、動物の行動に関する見識を深める。
・動物行動や植物の環境応答について動画を利用しまとめる。

1学期期末考査まで

【単元】第9章　植物の成長と環境応答：第2節　植物の一生と植物ホルモン
第10章　生態系のしくみと人間の関わり：第1節　個体群と生物群集、第2節　生態系の物質生産と消費、第3節　生態系と人間生活

【目標】自ら動けない植物も環境に対して反応し対策しながら成長していることを理解し、植生や農業のしくみへの理解につなげる。

【その他】第10章第3節については生物基礎範囲とも多く重複するため、概要説明にとどめる。
高校２年次同様、提出物等を評価点の３割ほどとして評価する。

2学期中間考査まで

【単元】記述問題を中心とする総合問題演習

【目標】記述で答える問題回答のコツをつかむ。

2学期期末考査まで

【単元】記述問題を中心とする総合問題演習、生物知識総合実習

【目標】記述で答える問題回答のコツをつかむ。総復習を行う。

【実験・実習】ブタ胎児および成体のブタの頭部をはじめとした各部分を解剖することにより、生物知識を総動員させてわたしたち人間の体内の理解につなげる。

【その他】授業内確認テストや解剖レポート等提出物を１学期同様、評価点の３割ほどとして取り扱う。